



私は代議士様と赤い羽根
西をさむ

私は代議士様と赤い羽根

西をさむ

赤い羽根を胸に刺しているのは、そのうち国会中継でテレビに映る議員さんだけになるかも。庶民は胸につけても三日がせいぜいというところ。



爪切って指に勤労感謝の日

田村米生

爪切って指に勤労感謝の日

田村米生

身近にあるものは、有って当たり前で感謝することがない。普段は忘れていたが、ひよんなことから気が付いたりも。まさに命もその一つだね。



燃え尽きた赤
夕暮れの
曼殊沙華

吉川正紀子

燃え尽きた赤夕暮れの曼殊沙華

吉川正紀子

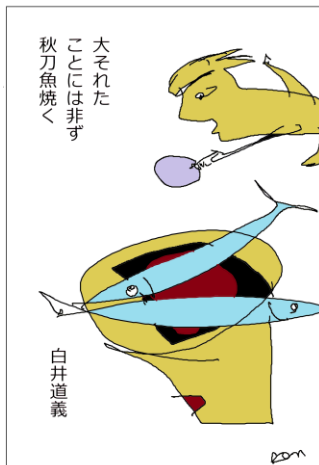
曼殊沙華の華やかさのプラスイメージを、燃え尽きたとマイナスにして、裏切り構成にしたことで成功。寂しさ悲しさが表現されて詩になった。



街路樹のどれも裸木ノードショー

青木輝子

裸木だからノードショー。しかも一本だけでなく、街路樹だからズラリ勢ぞろいで圧巻である。これまでにありそうでなかった発想だね。



大それたことには非ず秋刀魚焼く

白井道義

秋刀魚が不漁らしい。漁獲量は去年の一割程度で、価格は三倍とか。そう聞くと秋刀魚の有難味が一気に増す。焼き方も丁寧になるね。



レモン切る小さい嘘つてどのくらい

椋本望生

「僕は君に謝らなくては」「あら、改まって何よ」「いや、大したことはない。小さな嘘をついただけさ」「嘘の大きさと許す許さないは別問題よ」。